



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
2022 年度 事業報告書

2022 年度も新型コロナウイルスの収束にはまだ遠く、多くの事業をオンラインで開催したものの、講師派遣研修などは徐々に従来型の集合研修の依頼が増加し、with コロナ社会におけるスタンダードが見え始めた年でもあった。12 月に開催した「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会」においてはオンライン、ハイブリッド、集合型の 3 つの形式を組み合わせ、運営方法を試行した。久しぶりに会場ごとに有志の懇親会も実施し、対面で交流する意味を確認することができた。当期の収支では、収益としては大口の寄付とコロナ対応の給付金、費用としてはスタッフ欠員のための人件費減の影響で、黒字で決算することになったが、基幹的な事業収入は目標に未達になっており、大きな課題を残した。

以下、重点として掲げた事業について振り返ってみる。

重点 1 ボランティアコーディネーションの社会的認知を進めるための検定事業の拡大

検定については受験者総数 358 人。目標にしている 500 人越えには程遠い状況であった。共催検定を 8 回計画したが 5 回にとどまり、受験者数も半数に満たなかったことが大きな要因である。また、大阪会場の集客が伸びず目標の 6 割弱であり、この点も次年度に向けての課題である。

重点 2 ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な研修機会の提供

研修についてはオンラインにより下半期に 3 回の実務研修と 2 回の基礎研修を開催した。実務研修は既存のプログラムをベースに、with コロナの実情に即してアレンジした内容で実施した。コロナ禍でのボランティア活動の実情や再開への課題を会員に対して調査し、企画の参考にした。「ボランティアコーディネーター全員集合」で取り上げた福祉施設における地域との協働というテーマは、その意味や重要性についての講義と先進的な法人の事例報告により、時宜を得た内容で提供できた。

重点 3 ICT 等も活かした多様な領域で活動するコーディネーターのネットワークの構築

Zoom 等によるオンラインコミュニケーションの普及により、研修および 2 月の研究集会、各地での CoCo サロンなど、参加者のエリアは格段に広がった。運営委員などへの会員参加についても同様の効果がある。ただ、対面のコミュニケーションにある余白（休憩中、終了後の雑談や個別の懇親など）が少ない分、つながりづくりの側面では弱い部分があった。新たな ICT ツールについての研究も急務である。

重点 4 調査や実践研究に基づく、社会に向けた普及啓発、情報発信活動の強化

グッドプラクティスは応募数が伸びず、その開拓方法が大きな課題となった。報道ガイドラインの作成については報道関係者の意見も採り入れ、啓発的なパンフレット作成の方向に目標を変更し、2023 年度にアウトプットできるよう継続協議している。情報発信については動画の作成に力を入れていくことになり、体制を強化するためにタスクチームを設置した。



1 事業の推進

(1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の開催

①「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2022」の開催・評価

独立行政法人福祉医療機構からの助成金を得て、標記の集会を開催した。2021 年度に引き続き多様な分野・領域のコーディネーターの参加を得るために、集会名称も前回のものを引き継いだ。新型コロナウイルス感染予防のためにすべてのプログラムをオンライン形式で実施。企画及び運営については実行委員会（委員長：鹿住貴之さん）を立ち上げて企画と運営を進めた。

参加者としては社会福祉協議会などの中間支援機関の職員が多かったが、ボランティアコーディネーター研究集会として開催していた頃と比較すると、生活協同組合や国際交流協会からの参加が増加した。

テーマ：越境×対話×共創

期 日：2022 年 2 月 23 日（水・祝）～27 日（日）

参加者：200 人 ※申込者

登壇者（延べ）：65 人

実行委員：30 人

市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会2022 実行委員名簿

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	足立 陽子	東京都人権啓発センター	18	遠山 昌子	生き方のデザイン研究所
2	上田 英司	日本NPOセンター	19	西川 正	ハNZオン！埼玉
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会	20	橋詰 勝代	高島市社会福祉協議会
4	開澤 裕美	中央大学 ボランティアセンター	21	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
5	鹿住 貴之	JUON(樹恩)NETWORK	22	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
6	菊池 哲佳	多文化社会専門職機構	23	藤井 美香	横浜市国際交流協会
7	熊谷 紀良	東京ボランティア・市民活動センター	24	藤掛 素子	明治大学ボランティアセンター
8	栗原 穂子	ぼらんたす	25	松尾 慎	東京女子大学/Villa Education Center
9	齋藤 尚久	一般社団法人日本社会教育士会	26	宮城 智広	鶴ヶ島市社会福祉協議会
10	佐藤 正枝	公益社団法人日本社会福祉士会	27	明城 徹也	JVOAD
11	佐藤 美恵	ぼらんたす	28	武藤 祐子	千代田区社会福祉協議会
12	杉浦 健	共働プラットホーム	29	文珠 正也	日本協同組合連携機構(JCA)
13	仙波 愛優佳	和光市社会福祉協議会	30	矢島 万理	国土緑化推進機構
14	園崎 秀治	Office SONOZAKI	<事務局>		
15	竹田 純子	龍谷大学		後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
16	薦 直宏	日本生活協同組合連合会		神保 彩乃	日本ボランティアコーディネーター協会
17	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会		石川 陸矢	日本ボランティアコーディネーター協会

＜実行委員会開催状況＞

回	開催日	形態	人数
第9回	1月15日（土）	オンライン	27人
第10回	2月5日（土）	オンライン	30人
第11回	3月19日（土）	オンライン	20人

②「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（JVCC2022）」の開催

独立行政法人福祉医療機構からの助成金を得て、標記の集会を企画するために実行委員会を組織化した（委員長：鹿住貴之さん）。集会名称を「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会」に変更し、略称は英語名称の Japan Voluntary action Conference on Coordination : Mobilizing people for action から JVCC とすることとした。

テーマ：地域での実践を支える つながりや学びを生み出す“越境型プラットフォーム”

期 日：2022年12月17日（土）～18日（日）

※オープニングセッションはオンデマンド視聴（12月7日～12月31日）

参加者：148人 ※申込者

登壇者（延べ）：71人

実行委員：31人

市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会2022 実行委員名簿

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	上田 英司	日本NPOセンター	18	土田 恭仁子	宇治市社会福祉協議会
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	19	遠山 昌子	生き方のデザイン研究所
3	開澤 裕美	中央大学 ボランティアセンター	20	戸田 幸典	丹波ひとまち支援機構（たんえん）
4	鹿住 貴之	JUON(樹恩)NETWORK	21	橋詰 勝代	高島市社会福祉協議会
5	唐木 理恵子	紬ワークス	22	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
6	菊池 哲佳	多文化社会専門職機構	23	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
7	熊谷 紀良	東京ボランティア・市民活動センター	24	藤井 美香	横浜市国際交流協会
8	栗原 穂子	ぼらんたす	25	藤掛 素子	明治大学ボランティアセンター
9	齋藤 尚久	一般社団法人日本社会教育士会	26	法橋 聡	丹波ひとまち支援機構（たんえん）
10	佐藤 正枝	公益社団法人日本社会福祉士会	27	明城 徹也	JVOAD
11	佐藤 美恵	ぼらんたす	28	武藤 祐子	千代田区社会福祉協議会
12	杉浦 健	共働プラットフォーム	29	文珠 正也	日本協同組合連携機構(JCA)
13	仙波 愛優佳	和光市社会福祉協議会	30	矢富 明德	佐賀県国際交流協会
14	大藤 毅	国立大洲青少年交流の家	31	山崎 智文	京都産業大学ボランティアセンター
15	竹脇 恵美	長野県長寿社会開発センター木曽支部	<事務局>		
16	薦 直宏	日本生活協同組合連合会		後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
17	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会		神保 彩乃	日本ボランティアコーディネーター協会

＜実行委員会開催状況＞

回	開催日	形態	人数
準備会	4月27日（水）	オンライン	—
事務局チームミーティング①	5月16日（月）	オンライン	—
第1回	5月22日（日）	オンライン	22人
第2回	5月31日（火）	オンライン	18人
事務局チームミーティング②	6月7日（火）	オンライン	—
第3回 （公開プレ企画）	6月19日（日）	オンライン	25人 +12人
第4回 （公開プレ企画）	6月29日（水）	オンライン	23人 +11人
事務局チームミーティング③	7月6日（水）	オンライン	—
第5回	7月10日（日）	オンライン	26人
事務局チームミーティング④	7月31日（日）	オンライン	—
第6回	8月3日（水）	オンライン	28人
事務局チームミーティング⑤	8月12日（金）	オンライン	—
事務局チームミーティング⑥	8月21日（日）	オンライン	—
第7回	8月31日（水）	オンライン	29人
事務局チームミーティング⑦	9月6日（火）	オンライン	—
第8回	9月21日（水）	オンライン	28人
事務局チームミーティング⑧	9月26日（月）	オンライン	—
第9回	10月19日（水）	オンライン	29人
事務局チームミーティング⑨	11月4日（金）	オンライン	—
第10回	11月8日（火）	オンライン	25人
事務局チームミーティング⑩	11月25日（金）	オンライン	—
第11回	12月2日（金）	オンライン	29人

（２）研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 ⇒（３）に記載
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 ⇒（３）に記載
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 ⇒（３）に記載
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 ⇒（３）に記載
- ⑤各種研修の開催

・実務経験者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（計画4回／実施3回）

・実務研修 コロナ禍を乗り越えるボランティアコーディネーションの開催

(計画 4 回：オンライン / 実施 3 回：オンライン)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	ボランティアグループ支援基礎研修 ～with コロナで変わるグループ支援の 方法を学ぶ	8月26日（金）	小原 宗一 妻鹿ふみ子	14人
2	コロナ禍でも実践可能な 福祉施設のボランティア受け入れ研修 ～現場で開発された新たなボランティア プログラムを学ぶ	9月28日（水）	小原 宗一 榎本 朝美	12人
3	コロナ禍でボランティアの活動意欲低下 を防ぐコーディネーター研修 ～コーディネーターだからできる ボランティアのモチベーションアップ 対策	10月25日（火）	小原 宗一	20人

・初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

(計画 2 回：東京・大阪 / 実施 2 回：オンライン)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	新任ボランティアコーディネーター 基礎研修	8月9日（火）	唐木理恵子 青山 織衣 後藤 麻理子	36人
2	共催：大阪ボランティア協会	9月3日（土）	青山 織衣 新堀 春輔	28人

・初任者向け e 動画講義（富士通ラーニングメディアとの提携）の普及

出荷実績：ボランティアとコーディネート理解 36 件

ボランティア受け入れのマネジメント 23 件

⑥大学ボランティアセンター職員セミナー2022 の開催

テーマ：with/after コロナ期のボランティアコーディネーション

No	内容	開催日	講師	人数
1	基礎セミナー（オンライン）	9月8日 （木）	赤澤 清孝 拠点紹介協力（動画） 愛知淑徳大学 聖学院大学	29人
2	実践セミナー（オンライン） 全体会 分科会 1 成長スイッチを押すための 学生スタッフとの関わりとは！？ 2 コロナ禍を経ての大学と地域との 関係のつむぎ直し	9月9日 （金）	筒井 のり子 熊谷 紀良 岡 秀和 竹田 純子 佐藤 匠 國實 紗登美 秋田 有加里	41人

	3 活動を豊かにするオンライン コミュニケーションツールとの 付き合い方		宮崎 雅也 赤澤 清孝 芦澤 弘子	
--	--	--	-------------------------	--

⑦オンライン対談シリーズの開催

- ・「ボランティアコーディネーター全員集合」（計画2回 / 実施1回:オンライン）

回	内容	開催日	話し手／聞き手	人数
第1回	地域住民との協働を展開する コーディネーション ～地域における福祉施設の これからの役割	11月29日（火）	南 多恵子 奥村 昭 MC 永井 美佳 MC 佐藤 匠	26人

⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・役員等を派遣した。

派遣 63件 研修日数 73日 / 派遣講師 15人（実人数）

- ・全国の関係団体への講師派遣事業PRチラシを送付した（検定パンフレットに同封）
- ・相談者（団体・機関）のニーズに応じた研修メニューやプログラムを開発し、提供した。
- ・NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえから「むすびえスタッフのボランティアコーディネーション力を強化したい」とのオファーを受けて、スタッフ対象のアンケート調査へのアドバイスやスタッフ向けの研修を実施した（講師派遣一覧にも掲載）。

8月24日（水）スタッフ研修1：ボランティアとコーディネーションの基礎

12月19日（月）スタッフ研修2：事例検討（相談ケーススタディ）

—むすびえとの打ち合わせの開催：

第1回 2月28日（月）／第2回 3月22日（火）／第3回 6月24日（金）／
第4回 7月22日（金）／第5回 8月10日（水）／第6回 8月22日（月）／
第7回 9月27日（火）／第8回 12月16日（金）

（3）ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施（計画1回／実施1回）

第1回（通算第10回）ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修および試験を
事前動画視聴とオンラインを組み合わせて実施した。

開催地・会場	開催日	講師・メンター、試験監督	受験者
直前研修：講義 （動画視聴）	7月29日（金）～ ※オンデマンド	筒井のり子、早瀬 昇	12人
直前研修：演習 （オンライン）	8月20日（土） 8月21日（日）	小原 宗一、岩井 俊宗、早瀬 昇 疋田 恵子、上田 英司、竹田 純子 後藤 麻理子	11人

検定試験／評価 (WEB フォーム)	9 月 4 日 (日)	岩井 俊宗、小原 宗一、疋田 恵子、 永井 美佳、垂井 加寿恵、竹田 純子、 上田 英司、後藤 麻理子	10 人
-----------------------	-------------	---	------

<第 1 回 (通算第 10 回) 1 級検定 試験結果>

受験者数	10 人	合格者数	6 人	合格率	60.0%
------	------	------	-----	-----	-------

②ボランティアコーディネーションカ 2 級検定試験の実施 (計画 2 回・2 か所／実施 2 回・2 か所)

開催地・会場	開催日	講師・採点	受験者
<第 1 回> 通算 24 回 大阪会場： 大阪府社会福祉会館	講義動画視聴 10 月 8 日 (土) ～	後藤 麻理子 早瀬 昇 筒井 のり子 新堀 春輔	19 人
	直前研修 & 検定試験 10 月 23 日 (日)	筒井 のり子 竹田 純子 新堀 春輔 青山 織衣	
<第 2 回> 通算 25 回 東京会場： 大学生協杉並会館	講義動画視聴 11 月 5 日 (土) ～	大阪と同じ	34 人
	直前研修 & 検定試験 11 月 20 日 (日)	後藤 麻理子 疋田 恵子 新堀 春輔 鹿住 貴之	

<第 1・2 回 2 級検定 試験結果>

	大阪	東京	合計
受験者数	19 人	34 人	53 人
合格者数	13 人	25 人	38 人
合格率	68.4%	73.5%	71.7%

③ 3 級検定試験 (主催) の実施 (計画 2 回／実施 3 回)

第 1 回 (通算 32 回) :

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場①：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	6 月 25 日 (土) 直前研修 検定試験	佐藤 匠 後藤麻理子	28 人
東京会場②：東京ボランティア・市民活動センター <後援：東京ボランティア・市民活動センター>		オンデマンド 研修録画視聴	24 人
栃木会場：小山市市民活動センター (おやまーる) <協力：小山市市民活動センター>		オンデマンド 研修録画視聴	17 人

第2回（通算33回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
大阪会場 大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞	7月9日 (土) 直前研修 検定試験	永井 美佳 佐藤 匠 ※オンデマンド 研修録画視聴者を含む	43人

第3回（通算34回）： 12月4日（日）

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場①：飯田橋セントラルプラザ ＜後援：東京ボランティア・市民活動センター＞	12月4日 (日) 直前研修 検定試験	鹿住 貴之 矢島 万理	30人
東京会場②：東京ボランティア・市民活動センター ＜後援：東京ボランティア・市民活動センター＞		検定試験のみ	30人
大阪会場：新大阪丸ビル別館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞		永井 美佳 杉浦 健 ※検定試験のみを含む	24人
岐阜会場：じゅうろくプラザ		検定試験のみ	17人
滋賀会場：キラリエ草津 ＜協力：草津市社会福祉協議会＞		検定試験のみ	11人

＜試験結果＞

	第1回			第2回	第3回					合計
	東京 ①	東京 ②	栃木	大阪	東京①	東京 ②	大阪	岐阜	滋賀	
受験者数	28人	24人	17人	43人	30人	30人	24人	17人	11人	224人
合格者数	27人	21人	15人	42人	27人	29人	22人	15人	10人	208人
合格率	96.4%	87.5%	88.2%	97.7%	90.0%	96.7%	91.7%	88.2%	90.9%	92.9%

共催検定（計画8回／実施5回）

共催団体	開催日	講師
①東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	7月9日（土）	唐木 理恵子、土崎 雄祐
②東北公益文科大学	9月11日（日）	唐木 理恵子
③龍谷大学	10月22日（土）	早瀬 昇、筒井 のり子
④東京都立大学	11月26日（土）	三田 響子、後藤 麻理子
⑤長野県社会福祉協議会	12月8日（木）	事前研修動画視聴（オンデマンド）

<試験結果>

	①	②	③	④	⑤	合計
受験者数	41 人	27 人	30 人	13 人	23 人	134 人
合格者数	35 人	17 人	24 人	11 人	20 人	107 人
合格率	85.4%	63.0%	80.0%	84.6%	87.0%	79.9%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会（東京）	1 級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1 級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1 級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1 級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1 級
7	青山 織衣	大阪ボランティア協会	2 級
8	栗木 梨衣		2 級
9	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
10	垂井加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2 級
☆11	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2 級
☆12	足立 陽子	東京都人権啓発センター	3 級
13	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級
14	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3 級
15	鹿住 貴之	JUON（樹恩）NETWORK	3 級
16	佐藤 匠	至学館大学	3 級

各級（1 級・2 級・3 級）ごとのチームミーティングの開催

<1 級検定チーム>

回	開催日	形 態	参加人数
第 1 回	9 月 11 日（日）	オンライン	5 人

<2 級検定チーム>

回	開催日	形 態	参加人数
第 1 回	5 月 2 日（月）	オンライン	5 人
第 2 回	7 月 24 日（日）	オンライン	5 人
第 3 回	7 月 30 日（土）	オンライン	5 人
第 4 回	8 月 27 日（土）	オンライン	5 人
第 5 回	12 月 10 日（土）	オンライン	4 人

< 3 級検定チーム >

回	開催日	形 態	参加人数
第 1 回	4 月 24 日 (日)	JVCA 事務所	5 人
採点	6 月 28 日 (火)	JVCA 事務所	2 人
採点	9 月 16 日 (金)	JVCA 事務所	2 人
第 2 回	11 月 3 日 (木・祝)	JVCA 事務所	5 人
採点	12 月 13 日 (火)	JVCA 事務所	2 人

⑤ ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会 (東京)
3	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
4	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター
5	筒井のり子	龍谷大学
6	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
7	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

・ 検定研修委員会の開催

回	開催日	形態	参加人数
第 1 回	1 月 8 日 (土)	オンライン	7 人
第 2 回	7 月 18 日 (月・祝)	オンライン	7 人
1 級検定研修メンター会議	8 月 19 日 (金)	オンライン	5 人

⑥ ボランティアコーディネーション力 1 級・2 級・3 級検定の講師養成

⑦ 検定合格者 (3 級・2 級) に対する上級検定情報の提供

⇒登録アドレスへのダイレクトメールにて案内した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジンの発行 (月 1 回程度) JVCA めるまが Co★Co★Net 第 189 号～第 195 号

② JVCA 公式 Facebook の運営 ⇒ 随時発信

③ JVCA の YouTube 公式チャンネルの運営 ⇒ 「旅する JVCA」の配信

④ JVCA 紹介チラシの作成 ⇒ 検定および集合型研修で配付

⑤ WEB サイトの運営 ⇒ 随時更新

⑥ ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

⑦ ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての普及啓発

・『ボランティアコーディネーター基本指針』ブックレット、『グッドプラクティス事例集』等の

販売促進のために全国の関係機関にチラシを送付した。

- ・講師派遣（対面）の際には協会の紹介チラシやボランティアコーディネーター基本指針、検定パンフレットなどを配付した。
- ・オンライン研修ではデータにより協会の紹介および各種事業の案内をした。
- ・「ご存知ですか？ボランティアコーディネーター（ボランティアコーディネーター 8つの役割）」ポスターを入会時に配付した。

⑧社会的な動向やトピックスに関する情報収集と必要な発信をする（アドボカシー）

- ・ボランティア報道ガイドライン作成に向けてタスクチームのミーティングを重ね、JVCC2022 の分科会で発題をした。
- ・「世界にあなたの声を（#voiceforpeace）」ウクライナ・ロシア戦争に際して同じ時代、同じ世界を共に生きる市民としての声明。に賛同を表明した。（3月7日）

（５）広報紙および出版物の発行

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行（計画3回：4月、8月、12月／発行3回）

第65号 4月30日 発行 500部

特集：単なるマンパワーで終わらせてない？－大規模イベントのボランティアコーディネーション

第66号 8月25日 発行 500部

特集：コロナ禍で行き場を失った技能実習生たち－ベトナムのみなさんへの日本語教室を開く

第67号 12月25日 発行 500部

特集：個別相談から地域の応援団づくりへ－共生社会をめざすコーディネーターの総合力

②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキストの発行 20部増刷

③ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキストの発行 50部増刷

④『グッドプラクティス事例集 VOL.5 それはSOSから始まった！』の発行 100部

（６）調査・研究事業の実施

①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集

- ・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・委員会の開催

回	開催日	形態	人数
第1回	9月20日（火）	オンライン	4人

ボランティアコーディネーションの場面での創意工夫や成果を評価する「グッドプラクティス」の事例を2022年9月1日（木）～10月31日（月）まで募集したが応募がなく、それ以降も期限を定めずに働きかけることとした。

②『ボランティア報道アクションチーム』における研究協議

※ボランティア報道ガイドライン作成チームを改称

（早瀬昇、橋詰勝代、竹脇恵美、清水由子、高橋義博、疋田恵子、熊澤利和、石黒建一）

回	開催日	形態
第1回	1月14日（金）	オンライン
第2回	5月25日（水）	オンライン
第3回	7月12日（火）	オンライン
第4回	8月22日（月）	オンライン
第5回	8月30日（火）	オンライン
第6回	9月15日（木）	オンライン
第7回	12月3日（土）	オンライン

報道関係者にもオブザーブいただきながら意見交換を行った。当初は報道ガイドラインの作成を想定していたが、より関係者に受け入れられやすい簡易なパンフレット「ボランティア報道 こんなことで戸惑っています（仮称）」として取りまとめることを目標に検討を継続している。

JVCC2022では、チームで協議してきた経過をふまえ、分科会「え、その表現って、どうなの？言葉から考えるボランティアの価値」を企画・実施し、さらなる議論を深めた。

（7）ボランティアコーディネーターの交流の促進

①CoCoサロンの開催・運営支援

・CoCoサロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月26日（水）	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	6人	近況報告やコロナの影響による苦しい状況などが話された。12月に開催した検定結果も話題になった。
2	2月2日（水）	CoCo サロン in長野	オンライン	9人	早瀬昇さんをゲストに招き、ゲストからの問題提起をいただいたことをもとに意見交換を行った。
3	3月5日（土）	CoCo サロン 関西・北陸エリア	オンライン	8人	コーディネーション実践研究集会に参加した感想を共有し、振り返りを行った。
4	3月23日（水）	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	近況報告やそれぞれの問題提起をもとに多様な話に広がり、フリートーク形式で意見や感想を交換した。

5	5月25日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	6人	近況報告やウクライナ侵攻をめぐる昨今の SNS などの状況が話題となり、それぞれの考えを出し合った。
6	7月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	7人	参加者が各自の近況報告をし、それぞれの経験から気になることや興味深い実践事例などを紹介し合った。
7	9月28日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	ボランティアの功罪や違和感を持った場面、そこに関わるコーディネーターの専門性などを語り合った。
8	11月30日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	ボランティアの「すごさ」「無償性」、ボランティアに「さん」をつけるか等対話を通してモヤモヤを共有した。
9	11月30日 (水)	CoCo サロン 四国	オンライン	11人	初開催。参加者の取り組みを紹介したり、拠点紹介をするなどして交流をした。
10	12月1日 (木)	CoCo サロン 東北	オンライン	11人	菊池哲佳理事を囲んで、多文化共生に分野に関わるボランティアとコーディネーターについて話をした。

②エリアアクションの開催～身近な地域での会員のつながりづくり

5月に「エリアメイト」の更新と再募集を行った。

③国内外の関係団体との連携

後援：第 57 回公益財団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 21 回日本精神保健福祉士学会学術集会

④会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進

利用件数：95 件

⑤会員限定 Facebook グループ「集まれ！ボランティアコーディネーター」の活用

コーディネーター同士の気軽で自由な情報交換の場として活用した。

⑥動画「旅する JVCA」を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで発信

第 2 弾：ゲスト 竹脇 恵美さん × 聞き手 疋田 恵子さん

「JVCC をきっかけに、いろいろなコーディネーターに出会い、JVCA の関わりを深める」

第 3 弾：旅人 佐藤 匠さん × 旅先：日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）

「東京の飯田橋（神楽坂）にある JVCA 事務所を訪問」

第 4 弾：ゲスト 菊池 哲佳さん × 聞き手 小野寺 崇さん・栗原 穂子さん

「多文化共生には市民のチカラやボランティアコーディネーション力が必要！」

第 5 弾：ゲスト 永井 美佳さん × 聞き手 小柏 博英さん

「大阪ボランティア協会事務所＝市民活動の拠点 CANVAS 谷町を訪問」

組織運営と財政

- (1) 通常総会 2022年2月27日(日) Zoomを使ったオンライン会議として開催
 出席者数 227人(義場出席47人、書面表決74人、委任状提出106人)
 審議事項 第1号議案 2021年度事業報告ならびに決算案について
 第2号議案 2022年度事業計画ならびに予算案について
 第3号議案 第12期役員の選任について

(2) 監事監査の実施

2021年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2022年1月26日(水) 17:00~19:30 場所 JVCA 事務所
 出席 池田幸也監事、内野恵美監事

(3) 理事会 計画 4回開催(2月、4月、7月、12月)

第12期役員名簿

※五十音順

理 事 ◎代表理事 ○副代表理事

NO	氏 名	所 属	地域
○1	青山 織衣	一般社団法人岸和田シティプロモーション推進協議会	大阪府
2	阿部 陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会	東京都
○3	鹿住 貴之	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK	東京都
4	川中 大輔	シチズンシップ共育企画/龍谷大学	兵庫県
5	菊池 哲佳	一般社団法人多文化社会専門職機構	宮城県
6	後藤 麻理子	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京都
7	佐藤 匠	至学館大学	愛知県
8	遠山 昌子	一般社団法人生き方のデザイン研究所	福岡県
9	戸田 千登美	公益財団法人長野県長寿社会開発センター	長野県
10	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
11	西川 正	特定非営利活動法人ハンズオン! 埼玉	埼玉県
12	長谷部 治	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会	兵庫県
13	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
14	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京都
◎15	妻鹿 ふみ子	東海大学	神奈川県

監 事

1	池田 幸也	茨城キリスト教大学	東京都
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京都

- ・理事会の開催 計画：4回（上半期1月、4月 下半期7月、12月）

回	開催日	会場	出席	審議事項
第78回	1月30日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2022年度事業計画および暫定予算案について／第2号議案 2022年度検定試験委員の選任について／第3号議案 役員候補者選挙および選出規程の改定について
第79回	4月2日 (土)	オンライン	15人	第1号議案 正副代表理事の選任について／第2号議案 組織運営検討タスクチーム設置について／第3号議案 各種担当理事の選任について
第80回	7月17日 (日)	オンライン	15人	第1号議案 2022年度上半期事業執行状況および予算執行状況について／第2号議案 第4期中期ビジョンの進捗状況について
第81回	12月27日 (火)	オンライン	15人	第1号議案 主催研修等の講師謝金に係る規程および基準について／第2号議案 2023年度事業計画および暫定予算案について／第3号議案 運営委員会規程の改正について／第4号議案 2023年度検定試験委員体制について

(3) - 2 理事候補者選任選挙および役員候補者推薦委員会の開催

- ・第12期（2022.4.1－2024.3.31）理事候補者選任のための選挙（インターネット）

選挙期間：1月5日（水）17時～1月17日（月）17時

選挙人総数：314人 投票者数：134人 投票率：42.7%

- ・役員候補者推薦委員会の開催 1月24日（月） @オンライン

(4) 委員会

2022年度運営委員体制（2022.4-2023.3）

◎委員長

○副委員長

NO	氏名	地域	所 属
1	石黒 建一	北海道	社会福祉士事務所うらら
2	小野寺 崇	宮城県	仙台市社会福祉協議会
3	栗原 穂子	山形県	特定非営利活動法人ぼらんとす
4	土崎 雄祐	栃木県	一般社団法人とちぎ市民協働研究会
5	熊澤 利和	群馬県	高崎経済大学
6	宮城 智広	埼玉県	鶴ヶ島市社会福祉協議会
7	相澤 満	東京都	食物アレルギーの子を持つ親の会
8	榎本 朝美	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
9	開澤 裕美	東京都	中央大学ボランティアセンター
10	鹿住 貴之	東京都	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK

11	唐木 理恵子	東京都	紬ワークス
○12	熊谷 紀良	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
13	後藤 麻理子	東京都	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
14	高橋 義博	東京都	府中市市民活動センタープラッツ
15	疋田 恵子	東京都	杉並区社会福祉協議会
16	武藤 祐子	東京都	千代田区社会福祉協議会
17	文珠 正也	東京都	一般社団法人日本協同組合連携機構
18	三田 響子	神奈川県	相模原市社会福祉協議会
19	小柏 博英	福井県	福井市社会福祉協議会
20	竹脇 恵美	長野県	公益財団法人長野県長寿社会開発センター木曽支部
◎21	佐藤 匠	愛知県	至学館大学
22	清水 由子	岐阜県	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団
○23	國實 紗登美	滋賀県	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
24	筒井 のり子	滋賀県	龍谷大学
25	橋詰 勝代	滋賀県	高島市社会福祉協議会
26	山崎 智文	京都府	京都産業大学ボランティアセンター
○27	直井 友樹	大阪府	近畿大学大学院
28	早瀬 昇	大阪府	大阪ボランティア協会
29	杉浦 健	兵庫県	共働プラットフォーム
30	橋口 文博	兵庫県	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
31	大藤 毅	愛媛県	国立大洲青少年交流の家

① 運営委員会（月1回）の開催 計画 12 回

回	開催日	会場	参加者
第1回	1月16日（日）	オンライン	21人
第2回	2月20日（日）	オンライン	21人
第3回	3月13日（日）	オンライン	18人
第4回	4月16日（土）	オンライン＋龍谷大学大阪梅田キャンパス＋飯田橋セントラルプラザ	26人
第5回	5月8日（日）	オンライン＋龍谷大学大阪梅田キャンパス＋飯田橋セントラルプラザ	28人
第6回	6月5日（日）	オンライン	24人
第7回	7月2日（土）	オンライン＋龍谷大学大阪梅田キャンパス＋飯田橋セントラルプラザ	21人
第8回	8月11日（木・祝）	オンライン＋東京ボランティア・市民活動センター	27人

第9回 理事合同合宿	9月24日（土） ～25日（日）	熱海温泉 旅館「芳泉閣」+オンライン	30人 うち理事8人
第10回	10月16日（日）	オンライン+東京ボランティア・市民活動センター	23人
第11回	11月13日（日）	オンライン+キャンパスプラザ京都	19人
第12回	12月11日（日）	オンライン	22人

① - 2 運営委員選考委員会

日時 2022年3月10日（木） @オンライン

出席 理事 遠山昌子、長谷部治、運営委員長 佐藤匠、事務局長 後藤麻理子

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 研修開発委員会…実務者向け研修の進行管理、研修のプログラム開発と実行

（小原宗一、筒井のり子、後藤麻理子、竹脇恵美、大藤毅、開澤裕美）

回	開催日	形態
第1回	4月7日（木）	オンライン
第2回	5月24日（火）	オンライン
第3回	6月3日（金）	オンライン

ii) 研究集会企画委員会（研究集会事務局チームとして拡大して開催）

…市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2022 の企画・協力、市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（JVCC）2022 の企画・運営、今後の方向性、開催のあり方検討

（杉浦健、土崎雄祐、唐木理恵子、橋詰勝代）

回	開催日	形態
第1回	1月11日（火）	オンライン
第2回	5月16日（月）	オンライン
第3回	6月7日（火）	オンライン

※拡大メンバー（研究集会事務局：早瀬昇、鹿住貴之、上田英司、熊谷紀良、後藤麻理子）

→事務局チームミーティングの開催実績は「事業の推進」（1）②に記載

iii) 財政委員会…財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、活動予算の作成

（早瀬昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、土崎雄祐、熊谷紀良、熊澤利和、三田響子）

回	開催日	形態
第1回	1月8日（土）	オンライン
第2回	6月5日（日）	オンライン
第3回	8月11日（木・祝）	オンライン
第4回	12月1日（木）	オンライン
第5回	12月21日（水）	オンライン

iv) WEB 委員会…JVCA 公式 Facebook の運営など

(橋口文博、高橋義博、佐藤匠、宮城智広、相澤満)

回	開催日	形態
第 1 回	1 月 12 日 (水)	オンライン
第 2 回	5 月 7 日 (土)	オンライン
第 3 回	6 月 3 日 (金)	オンライン

v) 地域プロモーション委員会…ココサロンの呼びかけ、運営支援。エリアメイトと協働して
のエリアアクションの開催、旅する JVCA の制作など

(疋田恵子、熊谷紀良、栗原穂子、竹脇恵美、武藤祐子、佐藤匠、直井友樹、高橋あゆみ、
相澤満、橋詰勝代、小野寺崇、小柏博英、青山織衣、石黒建一)

回	開催日	形態
第 1 回	1 月 16 日 (日)	オンライン
第 2 回	2 月 20 日 (日)	オンライン
第 3 回	3 月 6 日 (日)	オンライン
第 4 回	3 月 13 日 (日)	オンライン
第 5 回	4 月 10 日 (日)	オンライン
第 6 回	5 月 8 日 (金)	オンライン
第 7 回	6 月 5 日 (日)	オンライン
第 8 回	7 月 2 日 (土)	オンライン
エリアメイトとの顔合わせ	7 月 8 日 (金)	オンライン
第 9 回	8 月 11 日 (木・祝)	オンライン
第 10 回	10 月 16 日 (日)	オンライン
第 11 回	11 月 13 日 (日)	オンライン
第 12 回	12 月 11 日 (日)	オンライン

③専門委員会の設置、運営

i) ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 (継続)

⇒委員会の開催は「事業の推進」(3) ④に記載

ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会 (継続)

⇒委員会の開催は「事業の推進」(3) ⑤に記載

iii) グッドプラクティス認定システム化委員会 (継続)

⇒委員会の開催は「事業の推進」(6) ①に記載

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

i) 検定プロモーションプロジェクトチーム (継続)

(早瀬昇、鹿住貴之、清水由子、國實紗登美、榎本朝美、文珠正也)

…3 級検定の受験促進のために、大学教職員のリスト化を図り、E メールを使って広報依頼を実施した。また、共催団体を確保するための対策を検討し、説明と PR を行った。

回	開催日	形態
第 1 回	4 月 16 日（土）	オンライン
第 2 回	5 月 8 日（日）	オンライン
第 3 回	7 月 29 日（金）	オンライン
第 4 回	10 月 16 日（日）	オンライン
1 級検定合格 お祝いパーティ	11 月 21 日（月）	オンライン

ii) 組織運営検討タスクチーム

（妻鹿ふみ子、鹿住貴之、青山織衣、菊池哲佳、佐藤匠、土崎雄祐、永井美佳、疋田恵子）

…第 4 期中期ビジョンの中間年振り返りおよび JVCA の将来像をふまえた、これからの組織・運営体制（財政、理事・運営委員の活動、事務局のあり方等）に関して検討を開始した。合同合宿での中期ビジョンの振り返りを主導したほか、組織のガバナンスに関わる考え方と実態を整理し、「運営委員会規程」および「処務規程」の改定を提案した。

回	開催日	形態
第 1 回	5 月 30 日（月）	オンライン
第 2 回	6 月 20 日（月）	オンライン
第 3 回	6 月 26 日（日）	オンライン
第 4 回	8 月 5 日（金）	オンライン
第 5 回	9 月 8 日（木）	オンライン
第 6 回	9 月 15 日（木）	オンライン
第 7 回	10 月 11 日（火）	オンライン
第 8 回	11 月 9 日（水）	オンライン
第 9 回	11 月 24 日（木）	オンライン
第 10 回	12 月 9 日（金）	オンライン

iii) 理事と運営委員のコミュニケーションを深める企画タスクチーム

（永井美佳、青山織衣、遠山昌子、佐藤匠、熊谷紀良、疋田恵子）

回	開催日	形態
第 1 回	2 月 24 日（木）	オンライン
第 2 回	4 月 25 日（月）	オンライン
第 3 回	5 月 26 日（木）	オンライン
第 4 回	8 月 17 日（水）	オンライン
第 5 回	9 月 22 日（木）	オンライン
第 6 回	10 月 31 日（月）	オンライン

iv) 大学ボランティアセンター職員セミナー2022 実行委員会

（筒井のり子、竹田純子、國實紗登美、赤澤清孝、秋田有加里、芦澤弘子、岡秀和）

回	開催日	形態
第1回	3月20日(日)	オンライン
第2回	4月29日(金・祝)	オンライン
第3回	5月30日(月)	オンライン
第4回	6月27日(月)	オンライン
第5回	8月22日(月)	オンライン
第6回	10月5日(水)	オンライン

v) ボランティアコーディネーター全員集合「ここだけの話」します企画チーム

(永井美佳、青山織衣、佐藤匠、國實紗登美、直井友樹、小柏博英)

回	開催日	形態
第1回	5月14日(土)	オンライン
第2回	6月9日(木)	オンライン
第3回	7月28日(木)	オンライン
第4回	8月14日(日)	オンライン
第5回	9月22日(木)	オンライン
第6回	10月22日(土)	オンライン
第7回	11月13日(日)	オンライン
第8回	11月23日(水・祝)	オンライン

vi) ボランティア報道ガイドライン作成タスクチーム

⇒ボランティア報道アクションチームに改称

(早瀬 昇、橋詰勝代、竹脇恵美、清水由子、高橋義博、疋田恵子、熊澤利和、石黒建一)

※会議の開催は「事業の推進」(6)②に記載

vii) 動画作成チーム

理事・運営委員合宿における第4期中期ビジョンの中間評価をふまえて、今後はWEBサイト等からの動画配信や講座開催に重点を置くという方針から、タスクチームが発足した。試行としてJVCC2022のPR動画をCanvaを使って作成し、Facebookで発信した。

(長谷部治、佐藤匠、宮城智広、國實紗登美)

回	開催日	形態
第1回	10月25日(火)	オンライン

(5) 理事と運営委員のコミュニケーションの強化

①理事・運営委員合同ミーティングの実施(顔合わせ)

4月2日に開催した理事会終了後に新体制になった理事と運営委員が顔を合わせ、自己紹介と情報交換をする場をオンラインで設定した。

②理事・運営委員合同合宿の実施(9/24・25)

(6) 会員拡大および会員サービスの充実

①「顧客・支援者データベース」の活用

各種事業についての案内を該当する顧客を
検索し、適宜 E メールにより周知した。

2022 年度末の会員数

種別	数	計
正会員	332	451
準会員	15	
賛助会員（個人）	97	
賛助会員（団体）	7	

②会員拡大に関する取り組み

- ・ ボランティアコーディネーション力検定
合格者に対し、入会の案内を行った。
- ・ 入会のインセンティブとしての割引等を、
研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

③会費納入率の向上

2 月に新年度の会員継続と会費納入を依頼するダイレクト E メールを送り、4 月末の広報紙
発送の際には未納者への納入依頼文書を同封した。これ以降は、8 月と 12 月の広報紙発送に
も依頼文書を同封。12 月には運営委員が E メールやメッセージなどで各自の顔見知りの
会員に対し会員継続と会費納入をお願いした。

(7) 運営および事務局体制の充実

①事務局職員の採用

3 月 31 日付で非常勤職員が退職した。これを受けて 3 月からスタッフ募集を行い、数名の
応募者と面接をしたが採用には至っていない。

(8) 財源の確保

①会費収入の拡大

研究集会や研修などの場で JVCA の事業を紹介し、入会の案内をした。

②事業収益の拡大

講師派遣事業については個別の声掛けなどを行い、むすびえからの依頼につながった。

③寄付者の拡大

相続寄付（匿名希望）として 300 万円を受領した。

④助成金、委託事業などの活用

独立行政法人福祉医療機構（WAM）の社会福祉振興事業助成金を申請し、採択された。

事業名は「市民の参加を支える人材の越境型プラットフォーム構築事業」である。

⑤「おサイフ通信」の発行

J V C A おサイフ通信 第 15 号（12 月 26 日刊）の発信

⑥新型コロナウイルスの影響による経営難を支援する制度の活用

5 月に事業復活支援金の申請し、100 万円受給した。

2022 年度 寄付者名簿

(敬称を略します)

ご寄付いただいたみなさまです。ご協力ありがとうございました。

寄付金は、＜コーディネーターみらい募金：JVCA の事業推進に関わる経費全般に使用＞および＜U30（アンダーサーティ）応援プログラム〔指定寄付〕：30 歳以下の若いコーディネーターの 2 級受験料を補助＞に活用いたします

青山 織衣	後藤 麻理子	寺田 美和子
赤石 千秋	小山 晴義	遠山 昌子
阿部 今日子	斎藤 尚久	永井 美佳
阿部 陽一郎	佐藤 茂雄	橋詰 勝代
池田 秀昭	佐藤 匠	長谷部 俊介
鹿住 貴之	清水 誠	早瀬 昇
唐木 理恵子	白井 稔男	疋田 恵子
川田 虎男	鈴木 盈宏	平林 秀敏
菊池 哲佳	田口 雄一	村上 直美
菊池 浩史	竹田 純子	山方 元
熊澤 桂子	竹脇 恵美	山口 由美子
後藤 定夫	筒井 のり子	匿名 3 人

計 38 人